



「木の葉ブログ」(ビジネススキル強化お役立て情報)

「マーケティング・その他」の話題から(2013年12月5日投稿)

『若草物語』に描かれた感動的なクリスマスプレゼント

南北戦争中だから今年はプレゼントをなしにしましょう、との母親の提案に4人の姉妹は同意します。そしてクリスマスの朝、彼女たちは、それぞれの枕の下に入っていた唯一のプレゼントである聖書を読みながら、朝早く出掛けて行った母親の帰りをお腹を空かせて待っていました。ところが、戻った母親が最初に発したのは・・・

あなたたちの朝御飯を、クリスマスプレゼントにしてくれないかしら？(※1)

「クリスマス、おめでとう。(略) 家からあまり遠くないところに、貧乏な女の人が、生まれたばかりの小さな赤ちゃんを抱えて寝ています。その人には他にも6人子どもがいるのですけれど、薪がないので、その子たちは凍えないように、1つのベッドで抱き合っています。食べるものもありません。(略)

ですから、あなたたち、この朝のご飯をクリスマスのプレゼントとして、その子たちにあげてくれないかしら？」。いつもの朝御飯より1時間も遅かったので、みんなひどく空腹だった。すぐには誰も返事をしなかった。が、それもほんの一瞬のことだった。ジョーが勢いよく叫んだ。「食べ始めないうちに帰ってきてくださってよかった！」

●姉妹の人を思いやる心は、この母親なくしては考えられません。きっと、彼女はいつも笑顔を絶やさず、戦場のご主人の分まで愛情を注いで子どもを育ててきたのだらうと思います。子どもたちの賛同を得て、彼女の笑顔はさぞ輝いたことでしょう。そして、今回の最後は、『人を動かす』からもう一つの「クリスマスの笑顔」です。

「クリスマスの笑顔」(クリスマス・セールスのデパートの広告から) (※2)

元手が要らない。しかも、利益は莫大。

与えても減らず、与えられた者は豊かになる。

一瞬間見せれば、その記憶は永久に続く。

どんな金持ちもこれなしでは暮らせない。どんな貧乏人もこれによって豊かになる。

家庭に幸福を、商売に善意をもたらす。

友情の合言葉。

疲れた者にとっては休養、失意の人にとっては光明、悲しむ者にとっては太陽、悩めるものにとっては自然の解毒剤となる。

買うことも、強要することも、借りることも、盗むこともできない。無償で与えてはじめて値打ちが出る。

クリスマス・セールで疲れ切った店員のうちに、これをお見せしない者がございました節は、恐れ入りますが、お客様の分をお見せ願いたいと存じます。笑顔を使い果たした人間ほど、笑顔を必要とするものはございません。

※1：『名作に描かれたクリスマス』(若林ひとみ著/岩波書店)

※2：『人を動かす』(デール・カーネギー著/創元社)